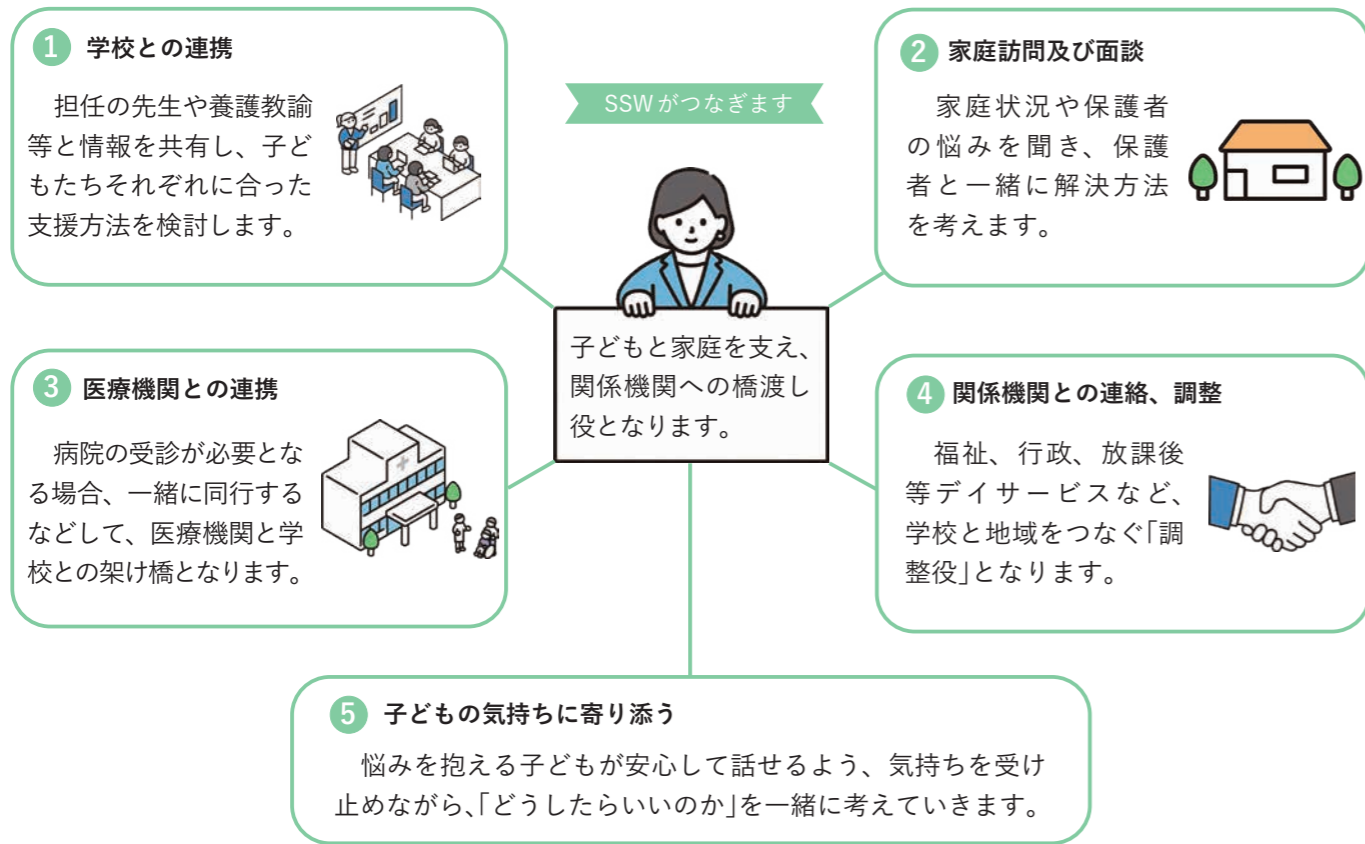


What We Do スクールソーシャルワーカーの支援の内容



私たちがスクールソーシャルワーカーになった理由 Our Story



小椋 さやかさん（重信中学校）

以前は、県立学校や特別支援学校で教員として勤務していました。学校や家庭で悩みを抱える子どもたちと関わる中で、第三者だからこそ支援できる場面があると感じ、スクールソーシャルワーカーを志しました。



佐々木 美香さん（重信中学校）

障がい福祉分野の相談支援専門員として10年以上活動する中で、不登校の背景に家庭の困りごとがあるケースを多く見てきました。私自身も障がいのある子どもを育ててきた経験を活かし、悩みを抱える家庭に寄り添えたらと思っています。



川内中学校のスクールソーシャルワーカー

長年企業で働く中で、障がいのある人やこころの不調を抱えている人の支援を続けてきました。その中で専門的な知識の必要性を感じ、精神保健福祉士と保育士の資格を取得しました。これまでの経験と資格を活用して、子どもや家庭の支援に関わりたいと思って、この仕事に就きました。

特集

子どもと家庭に寄り添う「つなぐ力」

スクールソーシャルワーカーの現場から

学校生活の中で、子どもたちや保護者が抱える悩みはさまざまです。悩みに寄り添い、学校と地域、関係機関をつなぐ存在が「スクールソーシャルワーカー」で、市内には3人の担当者がいます。教育現場で活躍する皆さんに業務の内容や仕事への思いなどをお伺いしました。



スクールソーシャルワーカー（SSW）とは？

学校に常駐するスクールカウンセラーとは異なり、家庭訪問の実施や医療機関への同伴など、外に出て支援を行う「アウトリーチ型」支援が特徴です。

子どもや家庭を取り巻く問題に、医療や福祉分野での経験を活かしながら、関係機関と連携し、一人ひとりに寄り添う総合的な支援を行います。



気軽に相談してください

You Are Not Alone!

「なんとなく心配」と思ったときに 相談のタイミング

子どもたちの小さな変化の中に、困りごとが隠れていることがあります。

スクールソーシャルワーカーは、子どもや保護者を評価する立場ではありません。「ちょっと気になる」、「誰に相談したらいいかわからない」、そんなときに、気軽に相談できる存在で、必要な支援につないでいきます。



どんなことでも構いません 悩まず、相談してください

スクールソーシャルワーカーは、まだあまり知られていない仕事です。昨年度、保護者から相談依頼があった事例は数件程度で、スクールソーシャルワーカーの存在を知っていた福祉や医療関係の人たちからの相談が中心でした。

相談を希望する場合は、まずお住まいの地区の中学校へご連絡ください。担任の先生や学校担当者を通じて、相談することができます。

また、自分自身の悩みだけでなく、友人、知人の様子が気になったときの相談も受け付けています。

このような状況、ありませんか？

- 朝になると体調が悪くなる
- 学校に行きたがらない
- 友人関係や集団生活が上手くいかない
- 家庭のことで悩んでいる
- いつも同じ服を着ている
- 授業中によく眠っている

実際に多い相談とは？

「学校へ行きづらい」、「家庭のことを話せない」など、子どもたちはさまざまな悩みを抱えています。その背景には、家庭環境の問題や友人関係のトラブル、経済的な不安など、周囲からは見えにくい課題が隠れていることがあります。



小さな変化に寄り添って

SUPPORT STORY

これまで出会った子どもや保護者との関わりの中で、「支援できて良かった」、「続けてきて良かった」と感じたエピソードを教えてくださいました。



CASE 01

朝の家庭訪問を続けた1年間



学校へ行きづらさを感じていた子どもに、継続して家庭訪問を行ったケースがありました。

本人や保護者と関わりを重ねる中で、少しずつ信頼関係が築かれ、学校や関係機関と連携しながら支援を続けました。

結果的には、本人のペースで登校できるようになり、関わり続けて良かったと思いました。

支援は、すぐに結果が見えないことがあります。それでも、関わり続けることで、少しずつ変化が生まれていきます。



CASE 02

「また家に来てもらってもいいですか？」 その一言が嬉しかった！

何度か訪問を重ねる中で、保護者から「気が楽になった」と声を掛けていただきました。後日、学校で偶然会った際に、「また家に来てもらってもいいですか？」と笑顔で話していただき、信頼関係が築けていることを感じました。支援を続けてきて良かったと思えた瞬間でした。



小、中学生及びその保護者が相談できます

スクールソーシャルワーカーに相談するには？



※スクールソーシャルワーカーは、学校だけでなく家庭や地域に出向きながら支援を行っているため、不在の場合があります。その際は、折り返しご連絡をさせていただきます。